

## [概要]

本研究では、Jリーグクラブと所在する都道府県を対象に、都市間の結合関係や都市の階層性と地域内でのクラブと地域の関わりを明らかにし、明らかになった全体の都市間関係のなかでの富山県・カタレ富山の位置づけを考察することを目的とした。都市間関係を明らかにするために「HGの平均入場者数」「選手の出身地」「スポンサー企業の立地」の3つの指標を用いた。「HGの平均入場者数」からJリーグを見ると、J1のクラブ、J2のクラブの間で明らかな差がある。広域中心都市や三大都市圏に所在するJ2のクラブより地方に所在するJ1のクラブの方が階層の上位に属することが明らかとなった。また、J1・J2の中でも差異があり、伝統的にサポーターが多いクラブやムーブメントをきっかけにサポーターが増えたクラブがその中で上位に位置する。「選手の出身地」から見ると、三大都市圏出身の選手は比較的多いが、広域中心都市が所在する地域は他の都市と変わりはないこと、経済的観点から見ると必ずしも階層の上位に来るわけではない静岡、熊本などの都市が階層の上位に位置することがわかる。また百万人あたりの出身選手数を見ると単純な出身選手数とは大きく異なった階層が見られた。「スポンサー企業の立地」から見ると、都市の結合はクラブ所在都道府県と①東京都②他の大都市③所在都道府県の都市という関係であった。

今後の課題としては、外国籍選手を考慮に入れること、選手の入団から引退までのキャリア全てを参考に都市間・クラブ間の階層関係を考える必要があるということである。